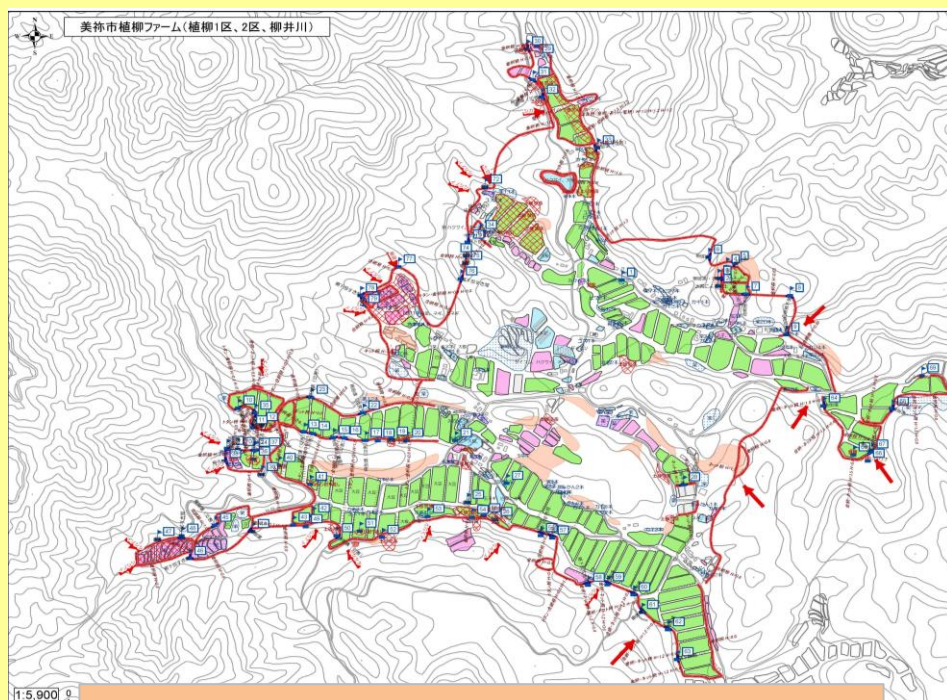


集落点検による鳥獣被害対策を推進しています

☆集落点検活動にむけた研修会の開催 ☆集落点検活動に基づく現地指導

経営技術研究室では、農作物等の鳥獣被害を防止するための試験研究や被害相談を実施し、被害防止技術の情報提供、被害対策研修会を県内各地で行っています。また、昨年度から、自分たちの集落がなぜ野生鳥獣の被害を受けるのかを、地図情報に取りまとめて、集落住民が被害対策を進める「集落点検活動」を支援しています。

集落点検活動にむけた研修会を通して、集落の問題点を地図情報として整理し、その結果をもとに、農林事務所と連携して県内8箇所程度の鳥獣被害対策モデル集落を育成します。



美祢市・農事組合法人植柳ファームの点検マップ



地図情報を基に被害を確認



柵の破損部分を住民が修繕

<主な内容>

『集落点検による鳥獣被害対策を推進しています』

◇各部の取り組み

『MA包装によるナシの長期貯蔵技術』

『県産オリジナル地鶏に飼料米給与！』

『サルスバリを中心としたコーナーが完成しました！』

『あなたの農力そだてます』

◇トピック紹介・お知らせ

『カメムシを主体とした様々な害虫に対応したトラップを開発！』

『香りのよいジュレ状ポン酢の開発』

～経営技術研究室～

～農業技術部 園芸作物研究室～

～畜産技術部 家畜改良研究室～

～林業技術部 緑化種苗課～

～農業研修部（農業大学校）～

～農業技術部 資源循環研究室～

～食品加工研究室～

MA包装によるナシの長期貯蔵技術

山口県産ナシの品種は「二十世紀」、「豊水」が主力で、ともに9月に収穫期を迎えますが、9月中下旬にはナシの供給量が多く、単価は低迷します。また、「豊水」は良食味の品質の良いナシですが、貯蔵性が高くありません。そこで、おいしいナシを11月から年末まで低コストで貯蔵できる技術を検討しました。

MA包装は、ガス透過性フィルムを用いて低温で貯蔵することにより、果実の蒸散と呼吸を抑えて鮮度を保持する技術です。2kg程度の少量包装では、OPPフィルム包装の6℃貯蔵で40日程度、ポリ乳酸フィルム包装の3℃貯蔵で3ヶ月程度の貯蔵が可能となりました。また、10kg程度の包装では、OPPフィルム包装の3℃貯蔵で2ヶ月程度の貯蔵が可能となりました。

この技術の利用により、簡易な冷蔵庫でも「豊水」を12月まで消費者へ提供することができ、販売単価の向上が期待できます。



OPPフィルム2kg包装



OPPフィルム10kg包装

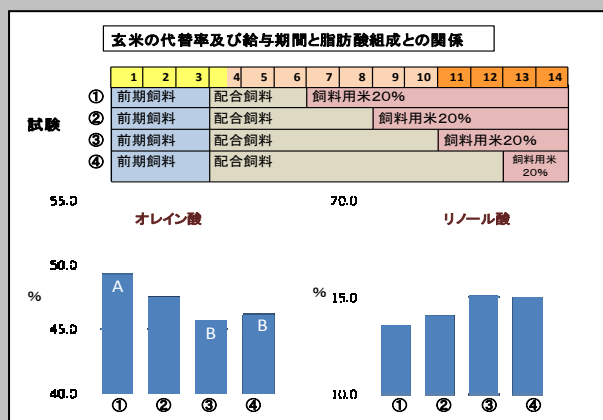
貯蔵経費 (円/kg)		
	小袋(1.5kg)	大袋(10kg)
	OPP	ポリ乳酸
袋代	13	27
低温貯蔵費 ^注	5	5
人件費	14	14
貯蔵経費計	32	46

注) 冷蔵費は1ヶ月当たりの単価(円・kg)

県産オリジナル地鶏に飼料米給与！ ～飼料米給与でさらに高付加価値化にチャレンジ～

県産オリジナル地鶏（やまぐち黒鶏×ロードアイランドレッド）への配合飼料の一部を米（玄米）で代替した飼料の場合、代替量が20%では3週齢から最終齢の14週まで給与することができ、また、50%を代替した場合は9週齢から給与することができます。

このように飼養すると、肉質については、硬さや保水性、脂肪含量、肉色等には差がありませんでしたが、腿肉の皮下脂肪の脂肪酸組成に違いが認められました。飼料米の給与期間が長いほど、また、飼料米の代替率が高いほどリノール酸とリノレン酸の割合が減少し、オレイン酸の割合が増加しました。リノール酸は必須脂肪酸ですが、過剰摂取による健康への影響が指摘されています。一方、オレイン酸は、食肉の食味をよくする効果やLDLコレステロールを低下させる効果があるとされています。飼料米を給与することにより、その肉中の脂肪酸組成が、健康的かつ良食味の方向へ変化しています。



サルスベリを中心としたコーナーが完成しました！

～林業技術部（緑化種苗課）のトピック紹介～

林業技術部では、山口市仁保中郷（KDDI山口衛星通信センターの西隣）に環境緑化園を整備し、緑化樹のモデル展示園として、広く県民の皆様にご利用いただいています。

園内には、約200樹種（800品種）2万本におよぶ緑化樹が植えてあり、平日の9時から17時の間、開園しています。

この度、夏から秋にかけて楽しめる、サルスベリを中心としたコーナーを整備しました。

まだ樹も小さく、少し寂しく見えるかも知れませんが、夏には多種多様なサルスベリの花を、秋にはサルスベリとドウダンツツジの紅葉を觀賞することが出来ますので、この機会に新設したサルスベリ等のコーナーをぜひ御覧ください。

樹木は、年を経るごとに風格を増していきますので、今後の生長にもご期待ください。

なお、紅葉等で美しくなる季節に「紅葉に親しむ月間」（11月1日から11月30日まで）として休日開園を予定しています。

ぜひ、お誘い合わせの上、環境緑化園へお越しください。



サルスベリのコーナー



今年咲いた花たち

あなたの農^{のう}力^{りょく}そだてます

～山口県立農業大学校（農業研修部）学生募集～

農業大学校は、「身をもって学ぶ実践教育」「全寮制教育」の柱のもと、農業に取り組もうとするあなたの夢を応援する学校です。

防府市の大平山の裾野に広がる広大な農地を使って、園芸学科（野菜・花き・果樹の3コース）と畜産学科（酪農・肉用牛の2コース）に1年生19名、2年生34名の学生が在籍し、農業のプロを目指して2年間の全寮生活で頑張っています！

22年度の卒業生は6割が就農し、特に近年農業法人への就業者が増えています。

24年度学生を下表のとおり募集します。

また、10月23日（日）にオープンキャンパスを実施しますのでお気軽にご参加ください。



24年度学生募集			
区 分	願書受付期間	農林事務所 願書締切日	入学試験日
推 薦 入 試	9月16日～ 10月7日	9月30日	10月26日
一般入試	一次募集 11月4日～ 11月25日	11月18日	12月16日
	二次募集 1月4日～ 2月10日	2月3日	2月22日

学校教育法に基づく専修学校であり、卒業生は「専門士」の称号が与えられ、「短大2卒」の学歴扱いとなります。

【お問合せ先】山口県立農業大学校 教務課 TEL (0835) 38-0510

詳しくはインターネットでこちらから

山口県立農業大学校

検索

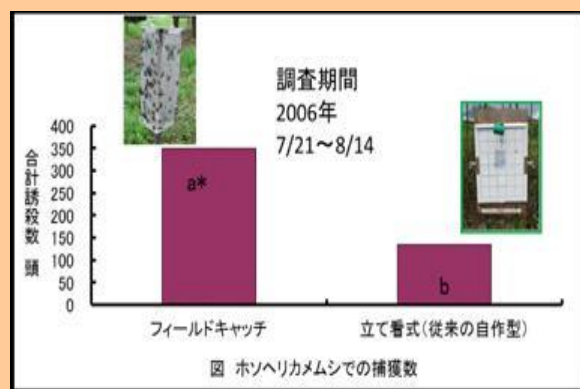
試験研究のトピック紹介

カメムシを主体とした様々な害虫に対応したトラップを開発！

農作物の害虫をトラップを用いて誘引し、害虫の発生状況や発生時期を的確に把握することが、効率的な防除のための重要な手法となっています。ハスモンヨトウなどチョウ目ではフェロモントラップを活用した防除判断技術が確立されています。しかし、カメムシ類ではフェロモンの開発は近年進んだものの、それに適したトラップの開発が遅れ、捕獲効率が低い立て看板式トラップを自作して利用せざるを得ない状況でした。センターでは、水稻や大豆の主要害虫であるカメムシ類の防除判断を的確に行える、捕獲効率の高いトラップの開発に取り組みました。開発されたトラップは、カメムシ類（ホソヘリカメムシの集合フェロモン使用時）で従来の立て看板式の約2倍の捕虫性能を有します。（下図参照）

このトラップは、富士フレイバー(株)との共同研究（特許出願中）で行い、今年より（商品名：フィールドキャッチR）販売が開始されました。フィールドキャッチは、捕獲能力が優れているのみならず、変形可能で様々な害虫への対応が可能です。（下図参照）

さらにトラップを活用して、大豆の吸実性カメムシ類や斑点米カメムシ類をはじめ、コブノメイガ、フタオビコヤガ等、様々な害虫での防除判断技術を開発中です。



香りのよいジュレ状ポン酢の開発

下関市のヤマカ醤油が中心となって農林総合技術センター、山口大学など産学公の10機関の連携により、さわやかな香りが際立つジュレ（ゼリー）状のポン酢を開発しました。

山口オリジナルかんきつ「せとみ」の果汁から醸造した果実酢と果皮から抽出したオイルを添加した新しいタイプのポン酢です。

食品加工研究室では、「せとみ」の香りをより高めるため、添加するオイルの抽出方法について技術支援を行いました。

液垂れしないジュレ状であるため、水気の多い野菜にもからみやすく、他の食材へ味移りもしないので、焼き魚や肉料理など和洋問わず幅広く使えます。



<山口県農林総合技術センター 企画情報室>

〒753-0214 山口市大内御堀1419 TEL (083) 927-7011 FAX (083) 927-4386

URL http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a172010/00000001/index.html

※ 皆さまからの御意見、御要望をお待ちしております。